

IKEHIKO NEWS

〈イケヒコニュース〉

vol,58

特集 年頭所感

New year's compliments



特集 年頭所感

New year's compliments

イケヒコ社員の皆様、新年明けましておめでとうございます。
2024年もイケヒコニュースをよろしくお祈いします。1月号
では社長、役員の皆様の年頭所感をご紹介します。



代表取締役社長

猪口 耕成

自立 自律

心の経営 真 質



執行役員専務

古賀 勝也



執行役員専務

中川 勝巳

論 理
言 語
熱 意



執行役員常務

野口 康成

士心

有言
実行



執行役員常務

中村 八大



執行役員

内田 貫一

貫徹

夢



執行役員

多々良 泰康



執行役員

池上 正高

我未請春

今月のTopics

い草ラグユーザーさんと新色を企画



ヒコラーさんとの直接のつながりを大事にしたい想いから始まったモノづくりラボ。定期的にオンライン交流会をしながら、第1弾ではロングセラー商品「い草ラグランクス」の新色を制作しました。まずは参加者さんのご意見から全7種のサンプルを考案。サンプルが織り上がる様子の共有や完成報告をチャットでご連絡しながら過程を楽しむイベントにしました。普段は見ることのできない織機の様子にみなさん大興奮なのが印象的でした!



【コメント一部抜粋】

「うわぁ♡テンション上がります!素敵です☆職人さん素晴らしい!」
 「織機の音が心地良いです」
 「美しいですね☆ずっと見ていられる・・・色も織りもうっとりします」
 「畳の織り上げ風景なんて見ることがないので貴重ですねえ・・・」

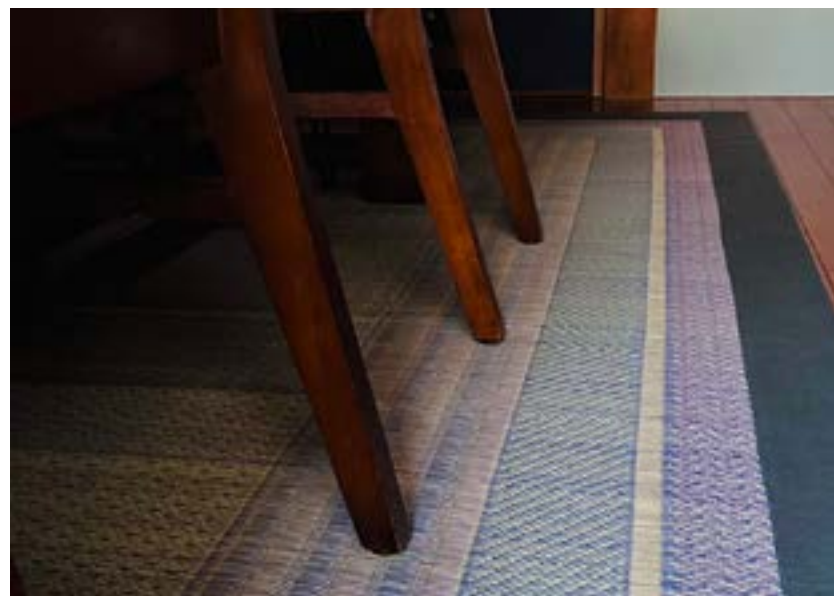


出来上がったサンプルをもとにSNSのフォロワーさんへオーディションも行いました!

参加者さんの想いをしっかり伝えるべく山下さん、鹿田でインスタライブも開催し、フォロワーさんと会話しながら魅力をお伝えしました。オーディションでは約240名の方へアンケートにご回答いただき、期間中は毎日順位が変わるほど大接戦。チーム内でとても盛り上がりました。



投票の結果、一番人気だったパープル色をもとに参加者さん全員でヘリのカラーを決定し商品が確定しました。馴染みの良いグレーを合わせていただき、素敵な商品が出来上がりました◎



△参加者さんに実際のご自宅で使っていただいている様子です

4月～イケヒコオンラインショップにて販売を開始します!
 今後も、様々な企画を通じてヒコラーさんとの交流の機会を増やしていきたいと思っています。
 引き続き、モノづくりラボへのご意見、ご協力をよろしくお願いいたします。

今月の一押しランチ

ピリ辛旨!「タコライス」



スパイスが効いていてご飯が進む味わいです!

今月の一押しランチはメキシコの味「タコライス」をご紹介します!タコライスとは、タコスの具材をご飯の上に乗せた料理です。「タコス」とご飯の「ライス」の2つの言葉が合わさってタコライスとなりました。タコライスは、沖縄県にて1980年ごろに生まれた料理で、沖縄がアメリカの統治下にあった際に、アメリカ軍によってタコスが沖縄に持ち込まれ、ご飯と結びついたとされています!

わたしのしごと

イケヒコで働く仲間、入社したきっかけやふだん仕事をしながら考えていること、これからやりたいことについて聞いてみました。

はなばら きよはる

#10 花原清春

第3事業部 藤竹商品担当

「行動して成長に繋げる」

今回のわたしのしごとは、第3事業部の花原さんをご紹介します！入社からこれまでのことや商品担当になっての思いについて聞いてみました！

—入社からこれまでの間で、印象に残っている出来事がありますか？
倉庫市のリーダーが1番印象に残っています。入社1年目の冬、第3事業部にリーダーが回ってきて、リーダーを務めました。今までリーダーの経験がない中、最初が全社的なリーダーで…色々とお支えいただきました。全社を動かす大変さだったり、気の使い方だったり、準備だったりと考えることが多かったです。初めてのことで全く分からない中、毎週話し合いの時間を設けて進めたり、自分なりに進めて、周りの方のフォローのお蔭でなんとか無事に終わることができました。振り返ってみるとその時が1番大変だったし、記憶に残っているなと思います。

—10月から商品担当になられて、変化や感じることはありますか？

藤竹の現場からサブ、そして今年の10月から商品担当になって、段階ごとに仕事の幅、やることが増えました。分からないことも多く、聞きながら自分で進めています。実はここでこうすべきだったとか、振っていい仕事だったとか、聞けば聞くほどに色々出てきて。全部やらないといけないことですが、圧倒的に量が増えたことで、自分のキャパを超えてるな…と思いながらも、使命感で行動してるのはありますし、自分のやること直結して数字に反映されるので、緊張感を持ってやっています。大変な部分も多いですが、間違えなく成長できると思います。例えば、自分の立てた目標で、やらなくても返ってくるのは自分だったけど、担当はやらなかったら部門や事業部、大きいところに戻ってくるので、やらないといけません。そうすると行動するから成長できる。中国出張の時も、サブだったらそこまで積極的に動いてなかったと思います。1人で行く予定ではありませんでしたが、教えていただきながら段取りしました。行動の元になっているし、行動するから成長するというのはあると思います。

—後輩へのアドバイスはありますか？

やっぱり1番は分からないことを後回しにするのは本当に良くないなと思っています。これは自分の癖でもあって、後回しにするのはダメなことだと思うので、最初は分からなくて当たり前なので分からなかったらとりあえず聞く！最初のうちは教えていただけるので、今のうちに聞いて、次は間違えないようにする。今回それを痛感することがあって、後々大変だったので…分からないことは聞くようにすると間違いもなくなり、次に活かせるかなと思います。

—今後の目標はありますか？

1つ目標というか、牛島さんみたいになりたいなと思っています。分からないことを聞いたら、答えではなく、背景や理由をよく教えていただいていた。投げられた質問に対して、こういうことを聞いているんだな、じゃあこうして返してあげたらいいよなって、考えられてると思うし、聞くと納得させられます。商品の提案にも生きていて、質問すればするほどそういうところが見えてくる。今は目の前のことで手一杯ですが、漠然と牛島さんみたいな人になりたいなと思っています。



わたしのあゆみ

- ◆ 2022年4月入社
第3事業部 藤竹 配属
- ◆ 2022年10月
第3事業部 藤竹サブを担当
- ◆ 2023年10月
第3事業部 藤竹 商品担当



わたしの生い立ち

花原 清春(はなばら きよはる)

出身：鳥取県

入社年月：2022年4月

入社動機：幼少期や大学での経験から、身近なものものづくりをやりたいと思い、就活をしていました。すると、1番上にイケヒコが出てきて、自分のやりたいこと合致してるなと思い入社しました。

趣味：旅行

ひとこと：
至らない点も多々あると思いますが、皆さんが藤竹＝花原と連想できるように頑張ります。

